

日本人の働き方について

電気電子工学科 五十嵐悠綺 加藤一弥

2、テーマを選んだ理由

コロナ下で働き方が変わってきた中、日本人の働き方に何か問題があったりするのかわかるということを知りたかったため

3、現状

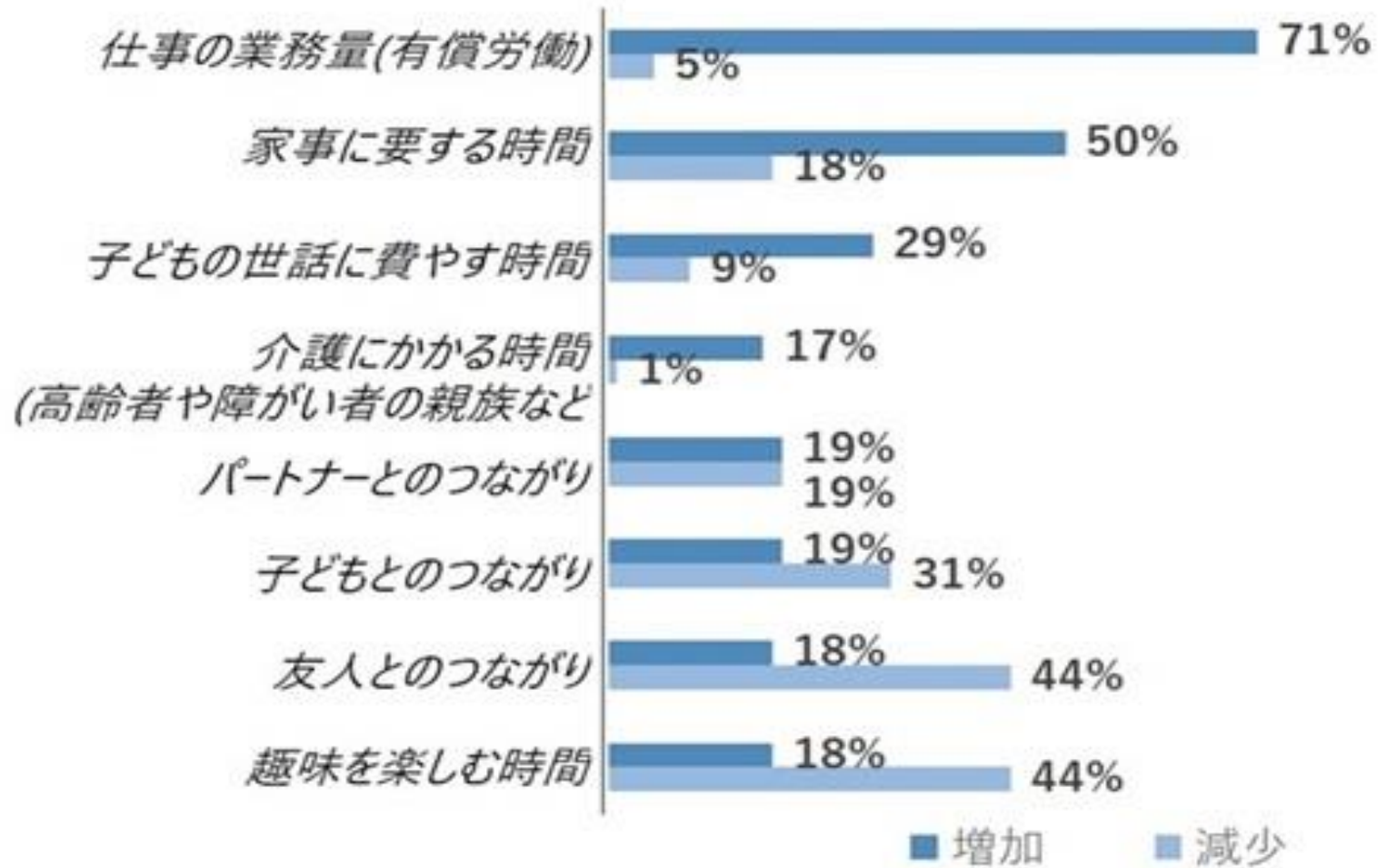
- (1) 日本人の働く女性の57%が2年以内の退職を検討していること。
- (2) 日本人の過労死が減っていない。

4、現状について・現状の問題点

(1) パンデミック（コロナが流行した世界）によってウェルビーイング（精神的、身体的、社会的に幸福）の低下、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の悪化が理由

【補足】 2020年時点での看護職員の離職率約10%となっているため、医療に直接かかわる人もそうだが間接的に医療にかかわる人の離職率もかなり高いとみられる。

日本の働く女性500人に調査したパンデミックによる私生活の変化についてのアンケート



(2) 日本人の1日の労働時間は世界でも1位、2位を争うほど長く有給取得率も驚くほど低いことが現状としてある。

そもそも「過労死」という概念の言葉が欧米諸国にはなかった。

一般的に「Death by over work」という言葉で使われているが直接「過労死」を表す言葉がなかった。しかし、日本の過労死問題が世界で認知されるようになってから

「Karoshi」という言葉として世界に認識された。

☆日本と海外に働き方の違い

- ・長時間労働・残業をする人

日本 = 仕事熱心な人

海外 = 仕事ができない人

- ・仕事で重視すること

日本 = 労働時間

海外 = 効率性

さらに海外では日本企業によくある

朝礼、無駄な会議、等の習慣もなく、時間の無駄使いを省くのが特徴。

5、課題

(1) の課題

コロナ患者が減らないために広く見て医療に関わっている人たちの休む時間が与えられなくなってしまっている。

(2) の課題

日本の古い文化のようなものが根強く、日本社会全体に残っているために、過労を強いられる人たちが多くいる。

解決策

海外と働き方についての考え方を合わせていく。

6、10代からの提言

日本の働き方は普通だという考えを変
ため、各企業内で日本と海外での働き
方の違いを説明し、仕事量も定時退社
ができる程度にする。

7、感想

日本の言葉が由来となった言葉の中に過労死があるということに驚いた。新しい発見が今回の調べ学習の中にいくつもあったので楽しかった